

携帯電話サイト「はなせんせ」

身の回りの草花の名前や情報を教え合う植物情報専用の携帯電話サイト「はなせんせ」が人気を呼んでいる。2年前のサイト開設以降、会員は約9000人、アクセス総数は約390万件を超える。今月からはパソコンでの参加も可能になり、より身近に植物を楽しむことができそうだ。(前田利親)

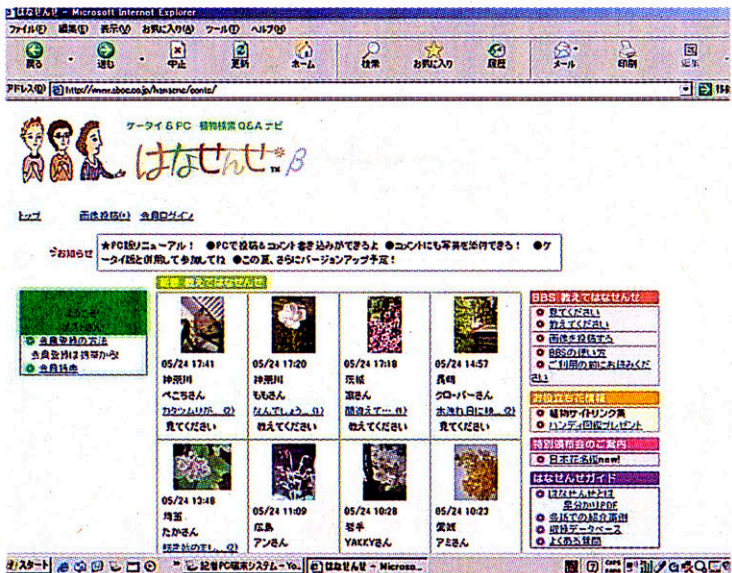
サイトを開いているのは、場秀章・東京大名菅教授。植物事典などの出版を手がける「アポック社」(神奈川県鎌倉市)と、同社に事務局を置くNPO法人「栽培植物分類名称研究所」(理事長、大

仕組みで、気軽に情報交換できるのが特徴だ。法人事務局長の森弦一さんによると、利用者は30〜50歳代が多く、男女比はほぼ半々。また「自分が育てた花を見てみたい」と画像を掲示板に載せる人も多く、森さんは「手塩にかけて育てた花に対し、別の会員からコメントが寄せられることに喜びを感じているようです」と説明する。パソコンから参加できるようにしたのは、「携帯電話よりパソコンの方が操作しやすい」「花の写真を大きな画像で見たい」といった要望が多かったため。掲示板に掲載し、名前を教え合うという仕組みは携帯サイトと同じ。パソコンならではの利点もある。携帯電話の画面では一枚の画像しか見られないが、パソコン画面では20枚以上の画像を並べて見ることが可能。画像は新着順に掲載されており、様々な花の開花情報を知る「花暦」としても利用できる。

森さんはより多くの人に花を通じたコミュニケーションを楽しんでもらえればと話している。

両サイトとも利用無料だが、携帯電話から会員登録する必要はある。アドレスは携帯電話、パソコンともhttp://abocj.jp/

この なあ〜に? 草花の縁 交流開花



携帯電話に加え、パソコンからも参加できるようになった「はなせんせ」

アクセス総数390万件
パソコンでもスタート